






租税教育実践レポート わたしたちの生活と税金

登米市立米谷小学校教諭 6学年 成澤 綾香
実施年月日: 令和5年5月19日 11名

1 実施計画・指導のねらい

多くの児童は「消費税」という言葉を知っており、税金は自分たちの暮らしのために使われているということは理解できている。しかし、誰が税金の使い道を決め、税金がどのように使われているかということへの興味関心は高いとは言えない実態である。そこで、社会科の学習(国の政治のしくみと選挙)やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解させ、税金についての正しい知識を身に付けさせたい。

2 単元構成・実際の指導状況(単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問 (○), 児童の反応 (●), 使用教材等 (□)
1 国会の働き	◇国会の働きや選挙の働きについて、国民の願いとの関連で調べる。	○ 国会の働きについて調べよう。 ● 国会には、衆議院と参議院がある。 ● 選挙で選ばれた国会議員によって、国民の生活に関わる法律や政治を進めるための予算などを多数決で決める。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」P24～25
2 選挙のしくみと税金の働き	◇選挙のしくみや税金の働きについて、国民の生活との関連で調べる。	○ 選挙はどのように行われているのでしょうか。 ● 18歳以上の国民に選挙権があり投票することができる。 ● 選挙で国会議員を選ぶときの大切な視点の一つが税金の使われ方 ○ あなたはどちらに投票しますか。 ● 増税は嫌だからB党。 ● 国をよくするために税金は必要だからA党。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編 東京書籍」P26～27
3 租税教室 (ゲストティーチャー)	◇税金について知っていることを出し合い、税金の種類と使い道について調べていくことを確認する。  	○ 税金とは何だろう。 ● 私たちも消費税を払っている。住民税。自動車税(子どもから出た答えを黒板に貼っていく) ○ 税金が使われているところと使われていないところに分けよう。(写真付きマグネット) ○ 税金がなくなったらどうなるだろうか。 ● 大変なことになる。 □ 「マリンとヤマトの不思議な日曜日」DVD ● 1億円の重さを体感した。   
4 租税教室の振り返り	◇税金について学んだことを基に、「税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ 税金の大切さや税の果たす役割について学んだことをはがきにかきましよう。
5 税金の学習のまとめ	◇税金の学習で学んだことを振り返る。	○ 税金について学んだことをロイロノートに提出しましょう。(児童の感想) ● 租税教室では、税金がないと僕たちの生活が不便になってしまうと分かり税金の大切さがすごく分かりました。 ● 増税はちょっと嫌だけど、税金の大切さを知ることができました。 ● DVDもとても分かりやすかったです。

【指導のポイント】《1時間目》
国会で決まること予算の議決、条約の承認、弾劾裁判所、国会は立法機関など、難しい言葉が一度に出てきたので、言葉をかみ砕いて説明した。

【指導のポイント】《2時間目》
デジタル教科書を活用し、選挙の様子を見せ、高校生や高齢者などさまざまな年齢の人が投票していることに気付かせた。
また、投票率の移り変わりのグラフを見せ、投票率が年々減少していることに気付かせ、自分の一票が選挙に反映でき、代表者が決まることや一票の重さを理解させた。

【指導のポイント】《3時間目》
日本にはどんな税金があるのか子どもたちに考えさせ、子どもたちから出た回答をゲストティーチャーが黒板に貼っていった。
また、税金が使われているか使われていないかを問い、写真付きマグネットで貼らせていった。子どもたちにとって身近な施設が提示されたので、生活に即して考えることができた。



3 実践の成果(◎)と課題(◆)

(租税教室実施後、教師自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考にしてほしい事項など)

- ◎ ゲストティーチャーに来ていただき、税金について丁寧に教えていただき、教科書で学んだことと関連付けて理解が深まった。税金や増税が嫌だと感じていた子も税金の使われ方や納税の必要性を感じたようだった。
- ◎ 租税教室の後に「税に関する絵はがきコンクール」に応募したが全員意欲的に取り組むことができた。
- ◆ 税金の種類がたくさんあるため、一つ一つについての指導の時間は十分確保できなかった。